

令和7年度 事業計画(案)

昨年度に引き続き「観光立国推進基本計画」により、観光立国の質的向上を象徴する「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」の3つをキーワードに持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略を継続しております。持続可能な観光地域づくりの更なる強化推進をはじめ、インバウンド需要の拡大、地域経済の活性化を大きな柱としております。

2025年4月13日から10月13日までの184日間「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに国際博覧会「大阪・関西万博」が20年ぶりに開幕いたしました。万博には、人・モノを呼び寄せる求心力と発信力があり、日本の成長を持続させる起爆剤となり、新たな変革に踏み出すチャンスと捉えております。日本各地においても本万博を契機として、食・伝統文化・歴史等のコンテンツをはじめ、その場所・その瞬間でしか味わえない魅力的な体験やイベントにふれる特別な旅を発信することを大いに期待しております。

北海道においては、道内各地の魅力あるコンテンツにより旅行者で賑わうとともに、旅行者の満足度や利便性を高め「観光立国北海道」の実現を目指すことに繋がります。また、観光振興を目的とした新税(宿泊税)の導入を現在検討しており、地域経済の活性化と観光振興の好循環を生み出し、北海道観光の飛躍的な成長と持続可能な発展に繋がることを大いに期待しております。

白老町としては、昨年度に引き続き一大イベント白老牛肉まつりの開催や町内周遊活性化イベント等、各種イベントの実施による相乗効果の期待も含め、ウポポイを核としたインバウンドの強化と誘客促進のPRイベントなど新たなコンテンツの開発を展開し、町内において滞在交流時間を延長するための周遊観光の促進を大いに期待しております。

当協会も、微力ながら地域DMOとして役割を担い、観光を通じた地域の活性化を図るためには、観光関係機関のみならず、地域住民も含めた地域の幅広い関係者が理解し、共に連携し、「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある地域づくりを実践していくことが不可欠であります。そのためには引き続き、調査・戦略策定・滞在コンテンツの充実、受入環境整備、旅行商品流通環境整備、情報発信・プロモーション等の取組を行いながら、地域が自らの価値を磨き上げながら成長し、持続可能な観光を目的に努力していく所存ですので関係団体等のご協力を宜しくお願いいたします。

このことから、本年度は、次の事業を重点目標として取り組みをいたします。

- インバウンド(欧米豪)に特化したAT層向けコンテンツの商品をブラッシュアップをすると共に、地域独自の歴史や文化の伝承や食の情報発信などを行う事業を販売いたします。また、インバウンド向けのツアー販売を展開し、コンテンツ用HPやOTA掲載の充実・パンフレット(デジタル版)等による販売促進を実施していきます。
- 旅行業登録申請を目指し、地域における各事業者等と連携を図りながら、白老発の着地型旅行商品の造成・販売やランドオペレーター業務の実施など地域の実情に応じた旅行等に関するコンシェルジュ機能を確立し、白老町ならではの豊かな食・観光資源・特産品等を活かした情報発信(SNSやホームページ)の拠点となるよう努力をしていきます。

- 白老駅北観光商業ゾーン（ポロトミンタラ）における指定管理業務を含めた自主事業や観光大型バス駐車場などの収益事業をはじめ、従来より行っている各種収益事業も含めて積極的に事業を展開し、稼ぐ力を引き出し安定的な運営資金の確保を目指すとともに、ウポポイや周辺地域との相乗効果を図りながら、地域の周遊性を高めた観光振興を努力していきます。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞広告や各種の旅行情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を更に高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自の宣伝企画、ホームページやSNS等を活用した情報発信を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	100,000 円
○各種観光事業集客広告	100,000 円
○観光事業集客広告事業（独自企画）	250,000 円
○誘導案内看板管理事業	50,000 円
○インターネット事業（国内・海外向け）	80,000 円
○ホームページ・SNSサイトPR事業（しらおいナビ）	600,000 円
○Tシャツデザインコンテスト・コラボ事業（独自企画）	200,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、北海道登別洞爺広域観光圏協議会、登別市白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業において広域周遊観光の促進を目指すとともに、白老観光協会が独自に主催する誘客キャンペーンでは、民族共生象徴空間（ウポポイ）や周辺地域施設との連携を強化し、相乗効果を目指した道内外及び海外への誘客事業を継続し、白老町への誘客及び特産品等の販売PRを促進する事業が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業（道内外・海外他）	500,000 円
--------------------------	-----------

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	30,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集めることができる「まつり・イベント」は、情報発信においては貴重な機会でもあることから、各種まつり・イベントへ協賛や協力し、ポロトミンタラ（白老駅北観光商業ゾーン）において新しい情報等を案内するとともに町内の各施設へ誘導及び周遊するための事業を推進します。

◇取り組みの事業概要

○白老牛肉まつり 2025	6月 7日～ 8日	
○第35回しらおいチェブ祭	10月 5日	
○町内活性化イベント（各種独自企画）	通年	300,000 円
○町内周遊活性化イベント事業	7月～2月（予定）	990,000 円

5. 収益事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する新たな収益事業の構築を中心とした事業を行います。また、各種収益事業において地域コーディネート機能の役割を中心とした職業体験や白老ねっと商店・ふるさと納税等販売を推進しながら、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと 2000 年の森管理業務（指定管理者 5 カ年）	11,847,000 円
○自転車・カヌー貸付事業	300,000 円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000 円
○ワカサギ釣り事業	1,192,000 円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	50,000 円
○白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	550,000 円
○コーディネーター事業（旅行商品・各種体験・鮭遡上見学等）	500,000 円

6. 白老駅北観光商業ゾーン・観光大型バス駐車場事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）との相乗効果を図りながら、回遊性の向上を目指す拠点施設として、観光インフォメーションセンターの管理業務を取り組み、観光情報等や広域観光特産品販売等を展開し、地域の活性化に繋がるような事業を行い、更には安定的な観光大型バス駐車場管理事業を財源の基盤として、自主事業の拡大及び充実を図るために積極的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老駅北観光商業ゾーン管理業務（指定管理者 5 カ年）	76,903,000 円
○しらおいチャレンジショップ管理業務	288,000 円
○SLポロト号・遊具施設等管理業務	200,000 円
○観光大型バス駐車場管理業務	7,388,000 円
○自動販売機設置事業	55,000 円
○手ぶら観光（手荷物一時預かり）・コインロッカー設置事業	30,000 円

7. 観光地域づくり法人（地域DMO）を核とした観光地域づくりに向けた取り組み

本町の観光による地域づくりを推進するために観光地域づくり法人を核とした取り組みや基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）を含めた整備を目指すともに、関係団体との合意形成を有効的にを行い、地域DMOを中核とした自主的な「稼ぐ力」の創出を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老まちづくりDMO戦略協議会（1年1回開催）	
○旅行業取得申請（地域限定）	660,000 円

○観光資源推進活動調査費（DMO等）	30,000 円
○白老町観光消費動向調査・分析調査	

8. そ の 他

◇取り組みの事業概要

○虎杖浜温泉観光活性化事業（虎杖浜竹浦観光連合会）	300,000 円
○白老駅舎管理・清掃業務（委託事業）	3,904,000 円
○白老駅臨時改札業務（委託事業）	4,324,000 円
○日本源泉かけ流し温泉協会（温泉サミット in ぬかびら源泉郷）6月23日～24日	
○白老バーガー&ベーグル研究会	
○白老レンタサイクル運営協議会（シラヴェロ）	

9. 会 議 等

◇主な会議の概要	○通 常 総 会
	○三 役 会
	○理 事 会
	○専 門 委 員 会（特別委員会等）
	○各所属団体会議